



宮城県農業高等学校
桜プロジェクトチーム

宮城県名取市高館吉田字吉合66番地

桜色の未来

JICA筑波での植樹の様子

気候変動の影響による猛暑で生じる「高温障害」で枯れてしまう地元・柴田町の桜を守るために、東京大学の技術指導を受けて、桜を高温・乾燥・塩害に強くする「桜色活力剤」を開発。柴田町では町民・樹木医・町役場と協働し、桜色活力剤の散水活動を実施したほか、昨年11月からの6か月間で計26本の桜を延べ545名とともに様々な場所に植樹した。研究と社会実装を両立した取り組みが評価され、今年だけでメディア出演は30件を超え、文部科学大臣賞を2度受賞した。さらにJICA筑波では5カ国の代表者と植樹を行い国際発信を進めたほか、大阪・関西万博においても研究発表を行い、世界に向けて“桜を守る地域モデル”を提案した。